

1

中部電力グループのさらなる成長

「変わらぬ使命の完遂」と「新たな価値の創出」の同時達成に向けて 新しい中部電力グループへと事業構造の変革を図ります。

中部電力グループを取り巻く事業環境は、ますます厳しく変化しています。私たちは、こうした事業環境の変化の中に成長のチャンスがあるものと考えています。

電力インフラの構築・運用により地域を支えることで築いてきたお客さまとの信頼関係や、その基盤である確かな技術力・提案力を活かし、さらなる成長を実現させるため、私たちは事業構造を大きく変えていきます。

社会構造の変化

- 人口の減少や国内経済成長の鈍化によりエネルギー需要は長期的に縮小
- 社会構造の変化に伴い発生する「社会課題」がさまざまな面で深刻化し、柔軟な働き方等のソリューションが求められている
- 社会課題の中でも、コミュニティの希薄化は深刻であり、生活の利便性や安全性の維持・向上にかかるお客さま・社会からの期待はますます高まっている

事業制度の変化

- エネルギー事業は規制緩和が進展、多くの事業者にとってビジネス・サービス拡大のチャンスに
- 事業制度は、発電、送配電、販売を異なる3事業として変更され、各事業に応じた市場活性化が進んでいる

テクノロジーの進化

- IoT、AI、ビッグデータ、クラウドコンピューティング、蓄電池等の先端技術が急激に進歩、相乗的に作用
- 全く新しい事業分野が創出され、その影響で世界の産業は規模や形態が激変
- 事業者の創意工夫により、お客さまも想定していない全く新しいサービスの提供が可能に

環境意識の高まり

- 温室効果ガス削減に向けた国際的な枠組みが形成され、取り組みが推進されている
- 低炭素社会の実現に対するお客さま・社会の関心は、ますます高まっている
- ESGへの取り組みに関する投資家・株主の皆さまの関心が高まり、環境を意識した経営はこれまで以上に重要に

低炭素社会の実現に貢献し、お客さま・社会からの信頼と期待に応え、選ばれ続ける

「一歩先を行く総合エネルギー企業グループ」として成長し続けるためには、

事業環境変化の中に成長のチャンスを見出し、従来の延長線上にない新たな取り組みを進めることが必要

- 事業環境が変化する中においても、ネットワークの中立性・公平性を確保しつつ、先端技術の活用や柔軟な運用により、新たな時代の安定供給を実現していきます。
- 火力発電事業のJERAへの統合、送配電・販売事業の分社化により、発販分離型の事業モデルに移行。それぞれの自律的な取り組みにより、より強靱な企業グループに成長し、エネルギー事業における収益を拡大していきます。
- エネルギー事業に加え、社会課題に着目した「新しい成長分野」を確立し、収益の柱に育てていきます。